

# 私が旅した韓国

前川 仁之



# 自己紹介

- 前川仁之(まえかわ さねゆき)

1982年大阪生まれ。7歳より埼玉県で過ごす。県立浦和高校卒。東京大学理科一類中退。立教大学異文化コミュニケーション学部卒(第一期生)。

現在、『週刊プレイボーイ』『宗教問題』誌などに寄稿している。

☆今年12月に新作発売予定！

# 私の韓国渡航歴

- 2015年3月～4月 初渡航。釜山から自転車で時計回りに韓国一周旅行。
- 以降、何度か取材旅行（主にソウル近辺）
- 2018年7月 韓国最大の離島・済州島へ初渡航。同年12月、翌年4月にも再訪。
- 2020年1月 半地下住宅の取材でソウル及び仁川へ。いまのところ最後の渡航。

# 大韓民国基礎データ

面積 100,389km<sup>2</sup>  
(日本の関東地方+東北地方ほど)

人口 約5200万人  
(約1000万人がソウルに集中)

公用語 韓国語

独立後、長らく軍事独裁政権が続いたが、1987年に民主化宣言がなされ、第14代大統領・金泳三(任期1993-1998)からは「文民政府」が続いている。

現在、韓国発のポップス、映画・ドラマなどは世界中でファンを獲得している。

サッカーW杯の最高順位は4位。野球も盛んで、宣銅烈(中日)、李承燁(巨人、オリックス)など、日本で活躍した選手も多い。



# 本日お話すること

- 
- A man in a dark suit and black shoes is walking away from the camera down a narrow, paved alleyway. He is carrying a large black backpack with a white plastic bag tucked into it. The alleyway is flanked by buildings of various colors and styles, including a light blue building on the left and a yellow building on the right. In the distance, a silver car is parked on the street. The sky is overcast.
- ① 韓国の史的観光スポット
  - ② 空間の使い方
  - ③ 南北軍事境界線付近の現状
  - ④ 記憶の継承と愛国教育
  - ⑤ とある日本観

# ① 韓国の史的観光スポット

- 郷校향교

李氏朝鮮時代(西暦1392~1897)の儒学教育機関。伝統建築で、今でも結婚式や文化活動が行われている。

- 城

晋州、水原など。日本の城と異なり長々とめぐる城壁が残り、“大陸”らしさを味わえる。

- 民俗村

## ②空間の使い方

- Time talks, space speaks. (E.T.ホール)

異文化に触れる際には、相手の時間間隔や距離感、空間の使い方に注目しているとおもしろい気づきがあるかもしれません。

私が旅をして感じたことは・・・

- 韓国の人々は、日本の人々に比べて “外” を楽しむ傾向が強い。

例：コンビニのテラス席 ベンチでの将棋  
花咲く屋台文化 などなど...

- 公共空間を展示に使う傾向も。

例：塀の壁画、バス停の詩 など

# ③南北軍事境界線付近の現状

- 「38度線」の誤解

→北緯38度線は分離独立直後の境界線で、現在の境界線は朝鮮戦争の結果(1953. 7. 27の休戦協定)

- 軍事境界線 < JS A (共同警備区域) < DMZ (非武装地帯) < 民統線 < ふつうの韓国



↑ 전방 1.5km 부터  
민통선 지역임  
(미승인차량 회차)

← 남북출입사무소  
Office of South-North Transit

1 판문점  
(板門店)  
Panmunjeom  
← 400m

← 개성·평양  
Gaeseong · Pyeongyang

1 문산(文山)  
Munsan  
임진각  
臨津閣 Imjingak 400m

굴곡도로 속도를  
전진히 SLOW  
줄이시오

자동차전용도로  
종점  
Motorway End  
500m  
국도77호선 종점

# 休戦線付近の名物その①



# 休戦線付近の名物その②

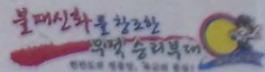


# 休戦線付近の名物その③





# 지뢰지대 경고문



1. 이곳은 미확인 지뢰지대로 지뢰가 매설된 지역입니다.
2. 이곳의 출입은 금지되어 있습니다.
3. 이곳에서 불법개간, 영농활동, 산채채취, 수렵활동은 3년이상 유기징역, 300만원 이하 벌금형이 부과될 수 있습니다.
4. 지뢰 폭발시 최소 무릎아래 절단 또는 사망할 수 있습니다.
5. 아래 그림의 지뢰가 발견되면 6685부대로 반드시 연락하셔야 합니다.  
6685부대 전화번호 : 033-440-6301~5

## 지뢰의 형태



한국군 지뢰

북괴군 지뢰

## ⑤ 記憶の継承と愛国教育

- 独立前（～1945）の記憶  
独立運動の記念碑／記念館
- 6・25戦争中（1950～1953）の記憶  
参戦記念碑の類（国連軍含む）
- 軍政期（1945～1987）の記憶  
民主化運動とその弾圧

尹奉吉(1908~1932)



丈夫以家生不還  
格軒尹奉吉

安重根(1879~1910)

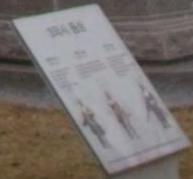


國家安危於心負恩  
安重根

金佐鎮(1889~1930)



向祖國進一軍  
金佐鎮





경기도 위양공비  
京畿道 慰養公比

군정문화유산  
軍政文化遺産



## ⑤とある日本観

### 茶山・丁若鏞(1762-1836)

李朝後期の万能の文人。

いわゆる「実学」運動の大成者。故郷楊州には実学博物館がある。

最後の英君と謳われる正祖の寵愛を受け、西学(西洋の学問)の研究を進める。

が、正祖の没後、反動の弾圧(辛酉教獄という)で兄は刑死、自身は流罪に。

生涯に五百巻もの書を著す。



# 丁若鏞の「日本論」

「日本今無憂也。余讀其所謂古學先生伊藤氏所爲文及荻先生太宰純等所論經義。皆燦然以文。由是知日本今無憂也。 (・・・)夫夷狄之所以難禦者。以無文也」(日本論一)

「日本舊未統合諸洲。亡賴之徒。各以其意治兵行劫。故羅麗之際。爲患頻數。今一島一壘。莫不統轄於國君。其不敢擅起戎禍審矣」(日本論二)

「若夫覘國力之虛實。察武備之疎密。量度於勝敗之數。而爲之權而已。則彼已百來。我已百敗。無噍類矣。豈至今安然無事哉」(同、結文)

→「日本」の性質が条件次第で変化するものと評価している

# 金仁謙『日東壯遊歌』の場合

- 金仁謙(1707-1772)は第十一次の朝鮮通信使に書記として参加、1763-1764にかけて来日。道中の見聞を歌辞でいきいきとつづったのが本書。
- 出国前の日本観は悪い(秀吉による倭乱の恨み)が、ゆく先々で日本の発展ぶりに驚きと感動を表明している。  
特に名古屋の女性がきれいだとか
- 江戸で国書交換後、帰途につく際には別れを惜しんだ日本人が泣きながら追いかけてきた。それに対して彼は・・・

誰がいったい倭人どもは  
この者らの様子を見ると

ずる賢く傲慢だと言ったのか  
気持ちが和らぐのを覚える

(金仁謙『日東壯遊歌』より)



# その一方で...

山の姿は雄壮 河は野をめぐって流れ  
沃野千里を成しているが 惜しんで余りあることは  
この豊かな金城湯地が 倭人の所有するところとなり  
帝だ皇だと称し 子々孫々に伝えられていることである  
この〇〇〇〇のような輩を 皆ことごとく掃討し  
四百里六十州を 朝鮮の国土とし  
朝鮮王の徳をもって 礼節の国にしたいものだ  
(同書一月二十八日、京へ入る直前の行)